質　問　回　答

2022 年 3 月 24 日

「パレスチナ感染性廃棄物管理に関する情報収集・確認調査」

（公示日：2022 年 3 月 9 日／調達管理番号：21a01088）について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
①	p16 第3章　特記仕様書案 第2条	「無害化処理機材の導入計画は3つの JC で進んでいる」とありますが、差し支えない範囲で機材の内容をお知らせください。	以下（1）、（2）で無害化処理機材の新規導入、（3）で既存施設の修繕計画が進んでいます。 （1）ジェニン JSC：マイクロ波滅菌装置 （2）ラマラ JSC：小型焼却施設 （3）ヘブロン・ベツレヘム広域 JSC:マイクロ波滅菌装置
2	p16 第3章　特記仕様書案 第2条	国家廃棄物管理戦略（National Solid Waste Management Strategy 2017-2022 のことと推察します）がありましたら共有いただけると幸いです。インターネット上で検索しても見つけることができなかったため。 また、企画競争説明書の中では触れられていませんが、医療廃棄物に特化した政策文書もありましたら、共有いただきたく存じます。	国家廃棄物管理戦略については以下にご連絡いただきましたら PDF データを配布いたします。 地球環境部環境管理グループ環境管理第二チーム　gegem@jica.go.jp 医療廃棄物に関する政策文書に関しては、現時点で確認できていません。パレスチナ環境省により 2022 年中に公表予定と聞いています。
3	p17 第3章　特記仕様書案 第4条　（3）　①第一次現地調査	・カウンターパートは MoLG とし、IC/R の説明を行うという理解でよろしいでしょうか。 ・調査期間中は、MoLG の事務所スペースを使用できるのでしょうか。 ・MoLG の事務所があるラマラでの宿泊は可能ですか。	・カウンターパートは MoLG であり、JSC や関係機関との調整も MoLG を通じて行います。インセプション・レポート(IC/R)については JICA 側で確認の上、MoLG 及びパレスチナ側関係機関への説明を行っていただくことを想定しております。 ・MoLG の事務所スペースは使用可能ですが、スペースが非常に限られており、実施中の技術

			協力プロジェクトとの共有となるため、人数や時期により制約が見込まれます。渡航計画を具体化する際に調整させていただきたく思います。 ・ラマラでの宿泊は可能です。渡航計画とあわせ事前に JICA 側へご相談ください。
4	p17 第3章 特記仕様書案 第4条 （3） ①第一次現地調査	・ガザ地区の入域調査が必要な場合、日帰りとなるのでしょうか。 ・現地調査は、ガザ JICA 事務所の支援の下で行うと考えてよろしいでしょうか。	・日帰りの調査を想定しています。 ・JICA 担当部及び事務所にて入域に必要な手続きや、安全管理に関する情報提供を行います。
5	p18 第3章 特記仕様書案 第4条 （6）技術協力プロジェクトとの整合性・協力成果の持続性	技術協力プロジェクト「廃棄物管理能力強化プロジェクトフェーズ 3」の事前評価票等、プロジェクトのアウトライン（上位目標・プロジェクト目標・成果・活動／投入等）が分かる資料があれば共有いただけると幸いです。JICA 事業評価案件検索で検索しても事前評価票が見つからないため。	当該プロジェクトは事前評価票作成基準に該当しないため、事前評価票は作成しておりません。プロジェクトのアウトラインに関する資料に関しては、以下にご連絡いただきましたら PDF データを配布いたします。 地球環境部環境管理グループ環境管理第二チーム gegem@jica.go.jp
6	その他	現地調査時、貴機構の専門員や職員の方の参加も計画されていますでしょうか。	JICA 地球環境部の国際協力専門員および職員等の参加を計画しております。

以 上